



第83回目を迎えた全道統一メーデー大会が5月1日、大通公園8丁目広場で開催され、5000人も労働者が集結する祭典となった。

「日本全体でつながり・支えあおう！すべての働く者の連帯で働くことを軸とする安心社会を実現しよう！」をメインスローガンに掲げた今大会は天候にも恵まれ、会場に多くの労働者が集まった。

第83回 メーデー大会

震災を風化させない 日本全体でつながり 支えあおう社会を

式典の冒頭、昨年東日本大震災の被災者への黙祷が捧げられた。

大会挨拶で工藤和男大会長（連合北海道会長）は第84回選抜高校野球大会の開会式で選手宣誓した石巻工の阿部翔人主将の言葉を引用し、「震災を決して風化させず、被災地の思いに寄り添い、生活を再建し、穏やかな日常と希望を取り戻せるよう、支援と連帯の行動を継続していく」と決意を述べた。さらに2012

いしかりちほん

発行
2012年5月31日
12-8号
〒060-0806
札幌市北区北6条西7丁目
自治労北海道本部内
石狩地方本部
村上 真仁
TEL:011-747-1880



春季生活闘争では「復興・再生」に全力をつくすとともに、雇用環境対策や雇用非正規労働者の処遇改善に全力で取り組

らんでいきたい」と述べた。また、政治課題についてもふれ、「公務員の労働基本権解決課題など一つひとつ解決していくべき」と指摘した。

その後、民主党荒井代表をはじめ、各来賓よりあいさつを受け、スローガン、メーデー宣言、3つの決議文を採択した。

地域医療を守って！ 看護師 院外でも奮闘

メーデー会場入口で、白衣姿で市民に署名協力を求める札幌病職労の組合員。多くの参加者・市民の協力があつた



現在、医療現場では人員不足による長時間・過密労働となっており、さらに平均在院日数の短縮化や医療技術の高度化などもありま

署名協力を求める札幌病職労の組合員。多くの参加者・市民の協力があつた

実現しよう！
看護師200万人体制

夜勤・交代性勤務に従事する看護師の労働環境は日々厳しさを増している。

自治労は安心・安全な医療提供体制実現のため、看護師離職防止などを求めて署名活動を提起、各単組へも取り組みを要請しているが、メーデー開始の前段、市民にもアピールしようと札幌病職労の仲間が白衣で会場入り口に立ち、参加者や市

式典終了後、参加者は札幌市内を3つのグループに分かれてパレードを行った。

北海道本部参加団は団会議で、本部意見反映事項を確認、「脱原発の取り組み、人事院勧告期に向けた取り組み」に対して意見反映すること



早いもので、もう6月です。6月は行事の月。なんと、ほほ休みがありません。体力には自信があるほうでしたが、最近、ややもすると地下鉄を乗り過ごしうでオヤジ度↑を感じます。(む)

★☆☆★
書記局から

民に協力を呼びかけた。多くの市民が足を止め、短時間だったが447筆の署名が集まった。

北海道本部参加団は団会議で、本部意見反映事項を確認、「脱原発の取り組み、人事院勧告期に向けた取り組み」に対して意見反映すること

本部臨時中央執行委員に選任され、挨拶する吉田 孝由氏 (所属 札幌市職連)

とし、2日目に発言にたった藤盛副委員長は、今期人勧期の取り組みについて、「人勧はの取扱は、地公確定に大きく影響を与える。公務労協で議論する際、地公段階での混乱を招かないよう、十分検討を求める。」と発言した。また、政策課題推進対応として本部臨時執行委員に札幌市職連から吉田孝由氏が選任され、今後の決意を述べた。